

拠出金名：国際海事機関監督委員会拠出金

国際機関等名	国際船舶データベース監督委員会 (英文名称・略称) International Maritime Organization (IMO) EQUASIS SC					
種 別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	◁国連専門機関▷		その他	
所轄官庁担当局課名	国土交通省 海事局 安全基準課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
単 位	金 額				拠出率(%) (注)	ODA率(%)
	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千EUR)	レ ー ト		
平成18年度	13,000		96	1EUR=136円	(2006年) 14	0
平成17年度	13,200		97	1EUR=136円	(2005年) 14	0
平成16年度	12,600		99	1EUR=128円	(2004年) 14	0
拠出上位5ヶ国・機関				国際機関等の財政 (2005年度決算)		
	国 名	金額(千EUR)	率(%)	当該年度の収入 677,447EUR		
1位	仏	227	33.5	当該年度の支出 615,942EUR		
2位	欧州委員会 (EC)	160	23.6	次年度への繰越 61,505EUR		
3位	英国	97	14.3	会計検査機関名		
4位	スペイン	97	14.3	国連会計検査委員会		
5位	日本	97	14.3	Panel of External Auditors, Comptroller and Auditor General of India (現在の構成員の出身国:インド)		
上記の率及び順位は2005年のもの						
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
<p>本機関は、船舶に関する種々のデータを公表し、透明性を高めることにより、海上安全及び海洋環境の保全を促進することを目的として、主要海事当局間の取り決めにより設立されたものであり、2000年から暫定運用を開始している。我が国は、主要海運造船国としての責務から、本システムの運営を決定する監督委員会のメンバーとして、平成14年度から分担金の支払いを開始した。</p> <p>本システムは、国際海事機関(IMO)の委員会にあわせ、年に2回ほど監督委員会を開催し、我が国を含む国際的要請に応え、運営方針を決定しており、また、利用者も大幅に増加するなど、高い国際的評価を得ている。</p>						
<p>合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価</p>						
<p>EQUASISの事務局はわずか3人で運営されており、また、情報システムのデータベースを運用する技術者も仏当局の技術者が兼任するなど、非常に効率的であると評価される。</p>						
邦人職員数 うち幹部以上	0 人 うち 0 人	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率		3 人 0 %		
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考		
なし						
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
未定						

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2004年～2006年)。